

## 平和への思い

沖縄県立名護特別支援学校 中学部三年

玉城 菜央

わたしは、せんそうをこわいと思いました。ばくだんがおちてきて、家や学校をこわしてしまふからです。たくさんの人が、ばくだんでしんでしまふからです。おきなわでは、てきがじょうりくしてきて、子どもたちは、ガマの中になげました。そして、せんそうがおわるまで、ガマの中で生活していたそうです。外に出ることもゆるされず、暗いジメジメした中で、じっと生きていたそうです。今のわたしの生活からは、とても考えられません。

わたしは、毎日学校に行っています。友だちと大きな声で笑ったり、野球をしてあそんだりしています。空からふってくるのは雨だけです。青いきれいな海では、海水浴をしている子ども達の声が聞こえてきます。わたしのまわりにてきなんていません。南アフリカから来ているロイ先生とは英語の勉強をしています。ハロウィン学習では、「トリック・オア・トリート」ということばをおしえてもらい、おかしをたくさんもらうことができました。ロイ先生に会ったら、みんな元気よく英語であいさつをします。ロイ先生もわたしたちからならった日本語で、「おはようございます」とあいさつをかえしてくれます。それから、国さい交流会では、アメリカ、ペルー、かんこく、スペインの人たちと楽しくすごしました。ダンスや歌をならったり、それぞれの国の文化をならったりしてもりあがりました。すぐに友達になりました。さよならする時はとてもさびしかったです。またいっしょにあそびたいと思いました。わたしもいつか大きくなって、いろいろな国へ行きたいと思いました。

わたしは今、とてもしあわせです。毎日、友達にかこまれ、毎日、あたらしい友だちと

出会い、ハッピーにくらしています。これが平和なことなんだと思います。だから、お父さん、お母さんにおねがいがあります。この平和な日々を、わたしからぜったいにうばったり、なくしたりしないでください。